

# 夢咲かせよう 立志の丘で

平成27年1月23日  
No.34

## 大綱講演会

1月19日(月)、6校時に、1年生は多目的ホールに、刈和野の「大綱保存会」の会長さん、五日町、二日町の建元の代表の方をお迎えして、「大綱講演会」を行いました。これは総合的な学習の時間で「ふるさと学習」の一環です。

会長さんからは、大綱の歴史、綱引きのスタイル、綱の長さ、予算、そして現在困っていることなどについてパンフレットを参照しながら説明がありました。



その後、建元の代表二人から、綱引きのときに実際に着用する絆纏、そして綱のミニチュアで、雄綱と雌綱が結ばれる様子を示してくれました。

建元さんが、綱がつながる見本を示してくれた後に、やってみたい生徒二人が、建元の絆纏を着用して、雄綱、雌綱に分かれて結ぶことを行いました。うまくいきました。



最後に、生徒から質問が3つありました。



- (1) 何年間修行したら建元になることができるか。
- (2) 大綱引き全体でかかる費用はおよそどれくらいか。
- (3) 女性は建元になることはできないのか。

(1) については、修行に年数はなく、早い人も遅い人もいます。(2) については、総額はおよそ一千万円で、これにはトイレ設置代金なども入っている。町内事業所だけからの寄付ではまかない切れないので、秋田県全域から協賛金をいただいている。

(3) については、昔から女人禁制となっている。綱の上は非常に危険であることと、伝統であるため。ただし、引くのは男女関係なくがんばっているので、引き手としてがんばってほしい。

終わりに、感想発表が男子生徒2名からあり、終わりの挨拶は女子生徒が感謝の言葉を述べ、全員で彼女に続いて「ありがとうございました。」のお礼を述べました。

五百年以上つづく国指定無形重要文化財の「刈和野の大綱引き」を、伝統行事として未来永劫受け継いでいきたいと思っております。

## 今年初の全校朝集会

1月20日(火)、今年初の全校集会在開催されました。テーマは、「今年の抱負」でした。

学級代表のスピーチをお届けします。

### ◇3年生

#### A組 後藤爽華さん

私の今年の抱負は志望校に合格することです。そのためには毎日コツコツ勉強し、徹底的に苦手をなくしていきたいです。そして、3月にみんなと笑えるようにしたいです。

#### B組 鈴木秀人さん

僕の今年の目標は、くじけずにがんばることです。今年はいろんなことに挑戦する年になると思うので、それらのことに一生懸命がんばりくじけずに実行したいです。

#### C組 佐々木望さん

今年がんばりたいことは勉強です。今年英語検定合格に向けて英語をがんばりたいです。

### ◇2年生

#### A組 高橋みらのさん

私の今年の目標は何事にもあきらめずに取り組むことです。去年は部活でも勉強面でもあきらめてしまってた納得のいかなかったことが多かったのですが、今年はいろんなことに挑戦して自分のためになることには努力をして、最高の形でこの年を締めくくりにしたいです。



#### B 佐藤拓真さん

今年の目標は、苦手な教科を少しでもなくすことです。4月から3年生なので、なるべく苦手教科をなくし、成績をもう少し上げたいです。

### ◇1年生

#### A組 佐藤幸助さん

僕の今年の目標は、理科学研究発表会で最優秀賞をとることです。去年は最優秀賞を取れなかったため、今年こそ最優秀賞をとりたいです。

#### B組 田村萌々花さん

私の今年の目標は、定期テストの成績と順位を維持することです。最初のテストからだんだん下がってきていて、特に下がってきた英語をがんばり、成績と順位を維持したいです。

この後、学年1名ずつ感想がありました。

### ◇3年生 三浦直樹さん

皆さん自分の目標がはっきりしていてよいと思いました。自分も自分の目標をしっかりと決めて、がんばりたいと思います。

### ◇2年生 伊藤日和さん

皆さんの発表を聞いて、それぞれ目標に向かってがんばっているなあと思いました。私も勉強と部活動の両立をしっかりとっていきたくたいです。

### ◇1年生 佐々木啓人さん

皆さんの発表を聞いて、自分の目標に進んでいけたらいいなあと思いました。自分も自分の目標

に向かってしっかり進んでいって、その目標を達成できたらいいなあと思いました。

## スキー教室

1月21日(水)、協和スキー場で、1・2年生がスキー教室を行いました。新生西仙北中学校スキー教室は3回目の冬を迎えましたが、過去2回もスキー場の天気はそんなに悪くなかったのですが、この日の天気は快晴そのもの。青空、太陽が出て、午前中は少し汗ばむほど、すばらしい気候となりました。参加生徒は1・2年生121名に18名の講師の先生方です。講師の先生は、西仙北地区スキー連盟、保護者の皆様、本校職員、地域の方々です。

バスで9時過ぎにスキー場に到着、すぐに開講式となりました。開講式は、体育委員の司会で始まりました。最初に校長あいさつ、そして講師紹介、講師の先生方に全員で元気にあいさつ、後松先生の諸注意、終わりの言葉でした。

その後、レンタルスキーの生徒が、スキーハウスの中でスキーを借りて、9時40分頃には、17班に分かれて、準備運動をしたり、リフトに乗ったりしました。



協和スキー場は、正面玄関側のゲレンデにリフトが1本、そしてそのリフトに乗って奥に行くと更に1本リフトがある、というコース設定になっています。中級、上級の班はすぐさま、リフトに乗って奥のゲレンデを目指しました。基本コースの班は、リフトに乗る前に、足慣らしや止まる注意を先生から学習しました。



昼食時間までに、たくさん滑った班で10回のリフト使用、その他の班も力量にあった滑走をしました。

昼食時間は時間差で11時、11時半、12時と3グループに分けられました。家庭や身体の事情で見学の生徒がレストランで昼食の準備・配膳を行ってくれました。学校の授業では見られない、てきぱきと動く生徒の姿がありました。メニューはカレーライスと清涼飲料水。足りない生徒は事前におにぎりやパンを持ってくるように、という連絡があり、カレーライスを食べた後に、パン等を食べている生徒もいました。



昼食後、ちょっと休んでから午後のスキー教室となりました。私の班は、奥のスキー場、リフト右側にある4つのコースを全て克服することを目標としました。一番右が、圧雪車の幅しかないコース、その左が全く圧雪されていないコース、その左が圧雪されているものの、やや急なコース、そして一番リフトに近いコースがチャンピオンコースで、一番急なコースでした。一番右は、班員全員が転ぶことなく、道なりに滑走できました。

次のコースは圧雪していないので、挑戦する生徒と迂回コースの生徒に分かれました。迂回コースの生徒は、2回目だったので楽に滑走できましたが、初めての生徒は、深い雪に足を取られて転倒、尻餅をつきました。でもなんとか全員滑り終えました。

この経験が次に生きて、3番目のコースは、全ての生徒が楽に下りることができました。最後のチャンピオンコースも、急なゲレンデながら整地されているので、途中から直滑降で下りてきた強者もいました。スピード感がたまらなかったと言っていました。

この後、左側の3コースをそれぞれ滑走し、午後2時15分に連絡路を通過して、ハウスまで戻りました。結局、私の班が最後まで滑っていたことになります。

全員集合したところで、レンタルスキーを返却し、閉講式となりました。

閉講式では、代表者から反省が述べられ、次の田沢湖スキー場でのスキー教室に今回の技術を生かしたい、とありました。

講師の先生方に全員で感謝の言葉を述べて閉会となりました。

西仙北地区スキー連盟の方々、保護者の皆様、地域の皆様を指導者に迎え、参加した生徒全員が思う存分、滑走することができました。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

## アルミ缶回収コンテナにふたが付きました

生徒玄関前の通学路に白いアルミ缶回収コンテナが、冬になり、この中に雪が積もりました。

今、JRC委員会では、冬季休業明けアルミ缶回収を重点的に行っています。ところが、積もった雪の上にアルミ缶を入れるので、強風が吹くとアルミ缶はコンテナから飛び出してしまい、私たちの通学路を踊るように音を出して駆け巡ります。何度か続きましたが、その度に校務員さんが拾ってアルミ缶を元の場所に戻してくれていました。

たまったアルミ缶は業者に回収してもらうのですが、雪が中にあるため、金額はいつもより断然低額だと思えます。水曜日の快晴時、校務員さんが水で雪を溶かしました。そうしたら、アルミ缶は半分くらいの量でした。このままでは、再び雪が積もってしまう、とふたを作ってみたらどうだろうという校務員さんの提案で、木曜日の朝から早速コンテナのふたを作製しました。これで、アルミ缶も満杯まで、雪も入れずにためることができます。

ふたの使い方は次のように行います。

まず、ふたは3つからできています。中にアルミ缶を入れる場合、黒いゴムひもを外します。つぎに、右側にあるつかえ棒で、ふたの上の箇所にはめて、つかえ棒の下をコンテナのふちにおきます。留め金が付いているので容易にできます。中にアルミ缶を入れたら、あとはつかえ棒を外して、元の白いひもの中に置いて、ふたをして終わりとなります。(詳しくはブログをご覧ください)



満杯になるまで、もうしばらく空間がありますので、是非たくさんアルミ缶をよろしくお願いたします。